

ヨシナカ新聞

一年の体感日数は

今年は一十二支の最後、イノシシさんの年です。昨年の一月号でも書かせて頂きましたが、年齢を重ねる毎に時の経過が早く感じられます。先日、ラジオで一年の日数を自分の年齢で割った数値が一年の体感日数だと言っていました。計算してみると(四捨五入)、10才だと37日、20歳で18日、40才ではなんと9日になってしまいました。この計算はあまりにも大胆な気がしますが、傾向は頷けるような気がします。一日をもっと大切に生きていかなければと、新しい年を迎えて新たな気持ちになりました。今年もどうぞ宜しくお願い致します。



ちょっとした疑問

知りたいことや疑問が出た時に、最近はいんターネットで調べてみる事が出来るようになりました。大変便利になりました。この『ヨシナカ新聞』もインターネットのお世話になった記事がいくつもあり、感謝の気持ちでいっぱいです。ということ、最近疑問に思ったことをインターネット上で調べてみました。

疑問その1
『風呂敷』って風呂に敷くと書きますが、その由来は？

室町時代の風呂は蒸し風呂のようなもので、蒸気を拡散させるために「むしろ」「すのこ」「布」などが床に敷かれていたものが風呂敷の起源であるが、現在の「風呂敷」にあたるものは「平包(ひらづつみ)」と呼ばれていたそうです。足利義満が大湯殿を建てた際、大名達や他の人の衣服と間違えないように家紋入りの絹布に脱いだ衣服を包み、湯上りにはこの絹布の上で身繕いを

1月号
発行所
㈱北陸ヨシナカ
大阪本社工場
TEL:072-977-8861
FAX:072-976-0634

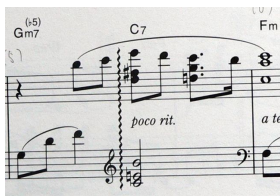
したことという記録があり、これが「風呂敷」と「平包」の間に位置するものと考えられるとか。

疑問その2
『サバを読む』の語源は？

魚市場で魚屋さんが鯖や鰯を数えるとき、鮮度が落ちないように、ものすごいスピードで数えては箱に投げ入れるので、あとから数えてみるとそれが間違っていることが多いので、正確ではないとかごまかされるという意味になったという説と、江戸時代に関西でお盆の贈答品として用いられた刺鯖(鯖の開きの干物)と二枚重ねで1つと数えたところからきたという説があるそうです。

K社員のピアノ練習記 第十二話 レスンスパターン 2

普段は週2回のレッスンプターンだったのです。が、ゴールデンウィークは先生のお休みの日以外は全てレッスンを入らせて頂きました。その甲斐あってか5月が終わる頃には曲の3分の2くらいのところまで



『ひまわり』楽譜の一部

進んでいました。途中、先生が「ここは難所ですよ。つて仰られた。小節も、大きな紙に書き写して練習してみると右手と左手の追いかかけっこみたいで2、3日の練習で乗り越えられたので、先生がとても驚いておられて、その表情を見ました。嬉しくなっていました。とにかく少しずつでも弾けるようになって。毎日少しでも進歩すれば必ず『ひまわり』を弾けるようになる日がやってくる。そう思い直して1オクターブの連続と、線をゆっくりと一音ずつ確認しながら練習します。どうしても左手に気をとられて右手は違う鍵盤を押さえてしまいます。それでも何回も何回も繰り返して練習していくうちに5回に1回くらいは超スローながら間違わずに弾けるようになります。

ステンレス豆知識

ステンレスの種類と特徴

分類	特徴	例	用途
オーステナイト系	約16%以上のCrとNiを含む。加工、溶接が容易。汎用鋼種は孔食、応力腐食割れの問題あり。改善鋼種あり。	SUS304 (18%Cr - 8Ni) SUS316 (18%Cr - 12Ni - 2.5%Mo)	広い用途に使用。特にSUS304はもっとも広く用いられる。
フェライト系	約11%以上のCrを含む。Niは含まない。加工、溶接性はオーステナイト系よりやや劣る。応力腐食割れに強い。	SUS430 (約18%Cr) SUS444(18%Cr-2%Mo-Ti-低C,N)	SUS430は内外装・家庭用品の一部 SUS444は給油槽、ソーラーパネルなど。
二相系	22~25%のCrと数%のNiを含む。硬い。耐食性がかなり良い。	SUS329J3L (22%Cr-6Ni-3%Mo-低C)	一部の耐食性用途。用途は限られる。
マルテンサイト系	12~20%のCrを含む。非常に硬い(焼入時)。耐食性は限られる。	SUS410(13%Cr) SUS440(18%Cr)	刃物など。

過去にも、ステンレスの種類については掲載させて頂きましたが、確認の為もう一度。ステンレスはCrの酸化被膜(不動態被膜)が腐食を防いでいますが、環境によっては腐食します。しかし、配合によっては耐食性が良くなります。孔食やすきま腐食に対する強さは、Crの量が多いほど大きくなります。同時にMoを加えるとさらに改善されます。例えば、SUS304とCr量は同じでも、2~3%のMoを加えたSUS316はより優れた耐食性を示します。オーステナイト系ステンレスの場合、Niを多く含むほど、塩化物による応力腐食割れに強くなります。304L等の炭素量の低い(0.03%以下)ステンレスの場合は溶接しても粒界腐食の心配はありません。(参考資料:トコトン優しい錆びの本(日刊工業新聞社))